



事務局 町田地区労
八柳 ひろ子

2025年6月号

<東京社保協第55回総会>

102名出席（ZOOM含）

1. 情勢・活動報告他

1) 24年、医療機関の倒産 過去最多の64件、今年も高水準が続く。「診療報酬改悪と物価高騰が原因、診療報酬を引き上げ欲しい。」と東京保険医協会は、引き続き行政に働きかけ、公的医療保険制度を守る活動を続けている。

2) 埼玉県議会12月 自民党から「インボイス廃止を求める意見書」提出され、採択された。

3) 世田谷区・渋谷区では、マイナ保険証があっても今後、全員に資格確認証を発行すると発表。また、「保険証復活法案」を真摯に審議してくださいと、東京保険医協会声明を出しました。

4) 後期高齢者の医療費2割負担、激変緩和措置が25年9月末に終わり、10月から負担増に。

2. 地域社保協等17団体から報告・発言

1) 足立社保協：「国保料の引き下げを求める陳情」にともない、自民党と無所属の区議と懇談。

23区長会事務局とも懇談し、結果20年ぶりに国保料が下がった。

⇒右へ続く

⇒ 2) 北区社保協：孤立死が増えている。毎月「なんでも相談会」実施、建て替えや家賃の値上げなどで、居住相談が一番多い。

3) 西東京社保協：昨年12月、33カ所ある訪問介護事業者のアンケートを取り

15事業所から回答。基本報酬が減らされたことに対し、80%が納得できない。13%が仕方がないと回答。

上記の報告・学習会を開催した。市長や市議4名、朝日新聞社など36名出席。

4) 東京土建：土建国保の保険証の扱いを説明したチラシ作成。政府のマイナ保険証の情報が、かなり遅いので困っている。

5/25（日）市長は市民の声を聴け！
市民パレード 11時～12時
原町田わかば公園～市民ホール前

<次回幹事会 7/1（火）18:30>

文学館ことばらんど 第1学習室

議題：市への高齢者等の要請書の検討ほか